



# 川口けいすけのグリーンズ川越

編集/発行 川越市議会議員 川口 啓介  
 〒 350-8601 川越市元町1-3-1 川越市役所6F 政晴会 議員控え室  
 TEL 080-3025-5776 FAX 049-227-3810 E-mail kawaguchi-keisuke@outlook.com

**88**  
**SINCE2003**

令和4年度(2022年度)予算案は、給与所得や企業収益の持ち直しに伴い、市民税を前年度比30億円増と見込んだ他国庫支出金(国からの給付金)と県支出金(県からの給付金)を、それぞれ前年度比約13億増、6億円増と見込むなど、過去最大の予算規模となりました。

そして、予算の46%を占め、増加の一途をたどる民生費(児童手当、生活保護、介護給付、福祉施設補助等)で540億円を計上。衛生費は、子宮頸がん予防のHPVワクチン接種、資源化センターや東清掃センターの施設管理費等の増により3億円の増。教育費は、市立高校・小・中学校の施設改修や設備更新等の経費増により3,5億円増の127億円。橋りょう維持補修、初雁公園整備事業等により7億円増の65億円を計上した土木費など、財政難ではあるものの、できる限り通常通りの配分を意識した予算案にしたとのことでした。



## これでもいいのか財政調整基金!

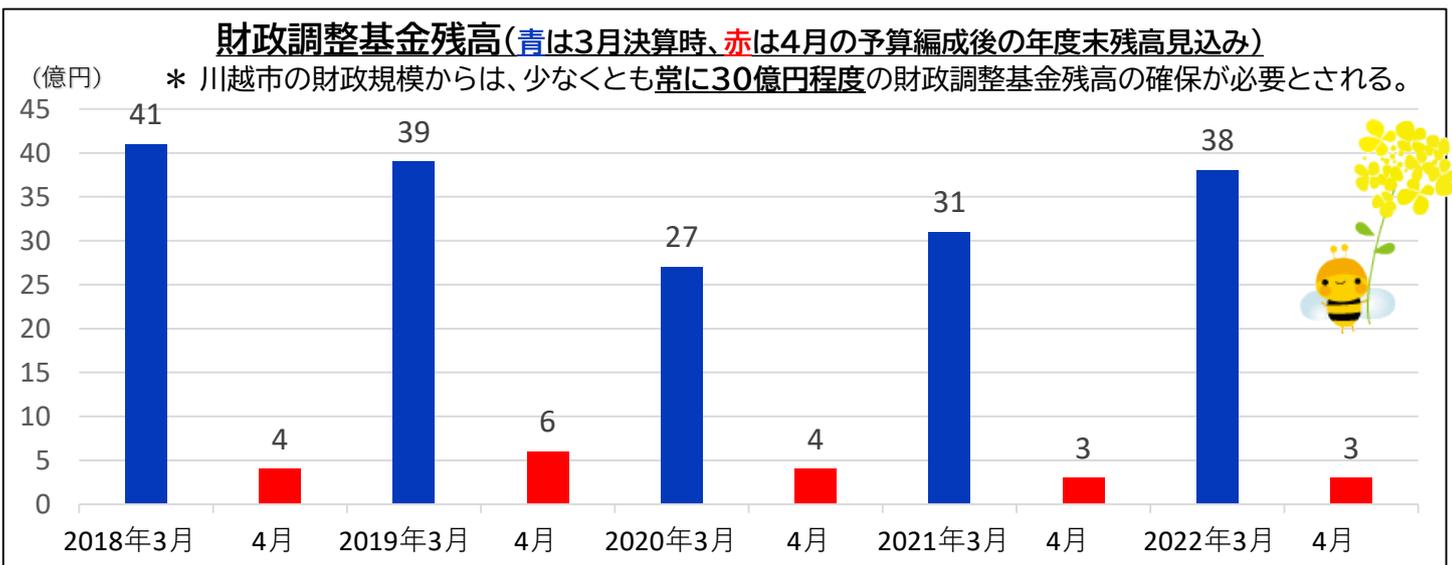


\* 財政調整基金とは、年度間の財源調整、突発的な災害や急を要する経費に備えた基金

### 財政調整基金を取り崩すことで成り立つ予算

4年前の2018年の3月議会、年度末に41億あった財政調整基金を37億取り崩して組まれた予算案が示されました。小中学校へのエアコン整備、保育所の整備、オリンピックに向けた取組みなど、一般的には「市民ニーズに答えた予算」と言えるものだったと考えていますが、その後も、空調や保育所の整備などは引続きの取組みであり、東清掃センター大規模改修や川越駅歩行者用デッキの延伸や改修整備、子育て安心施設整備、本庁舎の老朽化対策など事業が続きました。2021年度は新型コロナウイルスの流行による市税の大幅な減少があり、近年で最も厳しい予算となりました。

下のグラフは、財政調整基金残高の3月決算時(青の棒グラフ)と、ひと月後の4月の予算編成後(赤の棒グラフ)の年度末残高見込みを示したものです。毎年その年度の予算を組むために、万一の時に貴重な財源となるはずの財政調整基金をほとんど取崩して予算組をし、年度末に何とか余った予算等を基金に積み直し、またすぐ使うという編成を繰り返していることを表しています。昨年度は、予算編成後すぐに残り僅か3億円しか残っていない財政調整基金をさらに取崩したことで、9月議会で補正予算が採択され、基金に積み直しされるまでの約半年間の残高が、7千万円前後しかない状態でした。通常市民の皆さんが目にする財政基金の残高は、3月の決算時の額であることが多いですが、4月の予算編成後の、こうした財政運営の現状を是非知っていただきたいと思います。(中面へつづく)





41 4 39 6 27 4 31 3 38 3